

「競技者必携 2020」改訂のポイント

改訂表のうち、試合進行および審判のジェスチャーに直接関係あるものを抜粋、整理しましたので、学習時の参考としてください。

| 2020 版 頁 | 項目 | 改訂前(2019 必携) | 改訂後(2020 必携) |
|-------------------------|--|--|--|
| 19 | 試合中、ベンチ前のキャッチボール禁止 | 試合中、ファウルグラウンド(ブルペン等)でキャッチボールを行う場合、その人数は 2 組(4 名)以内とする。 | 試合中、ベンチ前のキャッチボールを禁止するが、ブルペンでのキャッチボールは 2 組 4 名以内を認める。 |
| 19 | 試合後の大会本部の挨拶 | —(2020 で追加) | 試合終了後の挨拶はホームプレートを挟んで球審の合図で行う。 <u>試合に敬意を表し本部役員も起立し挨拶をする。</u> |
| 35 | 試合のスピード化 | —(2020 で追加) | 投手は、捕手、その他内野手または審判員からボールを受けた後、走者がいない場合には 12 秒以内、走者がいる場合には 20 秒以内に投球しなければならない。 <u>違反した場合、走者が塁にいない場合はただちにボールを宣告し、走者がいる場合は警告を発することとし、同一投手が 2 度繰り返したら、3 度目はその都度ボールを宣告する。</u> |
| 36 | 試合のスピード化 | 打者が二塁打を放ち、打者用手袋から走塁用手袋に変える為にタイムをかける行為を禁止する。 | (同左) ただし、 <u>レッグガードとエルボーガードを外す時のタイムは認めるが速やかに行うこと。</u> |
| 38 | サングラスの投手使用禁止。 | サングラスは、大会本部の承認なしに使用できる。 | (同左) ただし、投手は使用できない。 |
| 47 | 臨時代走者 | ・・・試合に出ている 9 人の中から代走(打順の前位の者、ただし <u>投手および捕手を除く</u>)を認めて試合を進行する。 | ・・・試合に出ている 9 人の中から代走(打順の前位の者、ただし <u>投手を除く</u>)を認めて試合を進行する。 |
| 163 | 正しい投球姿勢の徹底 | 投手が投球する際に 1 度離れた両手を再び合わせたり、投げ手でグラブをたいたりすれば「 <u>ボーク</u> 」が宣告される。 | 打者への投球動作を起こしたならば、 <u>中断したり、変更したりしないで、投球を完了しなければならない。</u> “中断”とは投球動作を起こしてから途中でやめてしまったり、投球動作を一時停止することであり、“変更”とはwindアップからセットポジション(または、その逆)に移行したり、投球動作から塁への送球(けん制)動作に変更することである。 |
| 171 | 振り逃げの際の審判のジェスチャー | —(2020 で追加) | ノーキャッチのジェスチャーをする。 |
| 177- 179、 184-185 | 打撃妨害・守備妨害(インターフェア)の際の審判の宣告時の「指し手」に関して、走塁妨害(オブストラクション)にあわせ、「右手」に一本化 | ・・・ <u>左手で指して「インターフェア」と宣告し</u> ・・・ | ・・・ <u>右手で指して「インターフェア」と宣告し</u> ・・・ |
| 183-184 | 宣告用語 | 宣告用語 「テイク・ワン」、「 <u>＃・ツー</u> 」、「 <u>＃・スリー</u> 」 | 宣告用語 「ユー・ <u>〇</u> ベース」または「ランナー・ <u>〇</u> ベース」 |